PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 06311208 A

(43) Date of publication of application: 04.11.94

(51) Int. Cl

H04L 29/14 H04L 5/16

(21) Application number: 05097791

(22) Date of filing: 23.04.93

(71) Applicant:

YOKOGAWA ELECTRIC CORP

(72) Inventor:

NAKAJIMA TAKESHI

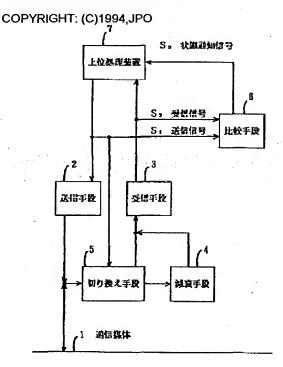
(54) COMMUNICATION CONTROLLER

(57) Abstract:

PURPOSE: To execute the abnormality detection of a receiving means each time a present station performs transmission by obtaining a signal at a minimum reception level and inputting it to the receiving means by attenuating a transmitted signal on a communication medium while the present station performs transmission.

CONSTITUTION: An internal transmitted signal S_1 as the output of a host processor 7 is outputted through a transmitting means 2 onto a communication medium 1. This output signal is inputted through an attenuating means 4 to a receiving means 3 while being attenuated to the minimum reception level to be received by the receiving means 3. Only while the internal transmitted signal S_1 being the output of the host processor 7 is existent, a comparing means 6 detects level difference between an internal received signal S_2 being the output of the receiving means 3 and the internal transmitted signal S_1 being the output of the host device 7 by using a switching means 5. When the level difference exceeds a prescribed value, an abnormal state report signal S_3 is outputted. This check is repeated each time the

transmitting operation is performed.



(19)日本国特許庄(JP) (12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号。

特開平6-311208

電影照過できる。(43)公開日。平成6年(1994)11月4日

and the second of the second

フリスJ. 1 000001 割ず高証

しずる文稿手段と、

工不选额特别的的专

以(51)Int.Cl.素がすのほとお 識別記号 ※ (こりのの) 为庭(15 1575/16 4基督等法 2014 10 Jet 次4101-5K 0年 小型も特別開催す過度組織的基礎是自己的基度**9371-5K** 他。

人力で多属り替えて記さい。人力の一方が何だの広告得等 であり、借方の入さかで述り軽減益量で行く、内等の差

多位的企业的特殊的 "这种不是自己不知识,是是是对于

のでは、2007年2月2日としてはますで見与された。

所以为此人自身色、中等的目标的组织者由且内部的形势。 The Park that have a first the second of the

だいがい はらまかして

| 審査請求 未請求 請求項の数1 0 L (全5頁)

_(21)出願番号 はおおず特願平5-97791 唐 まきらき しき

平成5年(1993)4月23日 ()

(22)出願日

[音響] お通過では、上角を立め、大きの生のである。 ではな、適性で見る様しては、ははより出せらい。 されていたとは、これを成して というなど かんだい

und succession of the substance of the

4.1. 人名默达人艾尔克特雷斯克拉克斯克纳 一型的复数形式 美国法国的美国公司 医动物管 2000年的公司都可以为 raligade en de l'eff al actorement la

を信仰と、自む とりみふせん かだって みととぬの送りて 这些办证人的最大的重要原在发生的证证。 医二氏病病 こうしゅを付出る 日本原本日本 大学としませい ほどいい

> 。在在各款工作。如此的图式是这样多点企为 [[]]]

(71)出願人 000006507

 $\mathbb{Q} \mathbf{F} \mathbf{J} \otimes \mathbb{P} \mathbb{P} \mathbb{Q} \mathbb{Q} \in \mathbb{R}^n$

横河電機株式会社

所经的基础是特别的工作数据的证明的证据通讯证据

生物。在1994東京都武蔵野市中町2丁目9番32号。由1

(72)発明者 5中島 (剛 音点の 室内 しきおうむ 許芸を立

RAGE STRANSFORM

東京都武蔵野市中町2丁目9番32号 横河

(74)代理人上弁理士、小沢、信助、方子學與公司宣言

- 主要問酬問題或為

[1000]

まで達出の結果充定する こうた トーブバック 停止 足 スペープ・この登録機関は必要を元

スト主義を設置している。このは各文製造を設定する 5分名は劉朝のはは、1500年リロドムは1950年の東南東東(月

立(54)【発明の名称】通信制御装置も漢語書 - (3日間)

がはこれではないではよりに対すが行う一プレスについます。

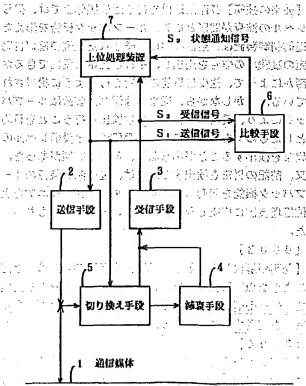
ラ(57)【要約】、受き常数のこっさける周位な窓上に一つ

【目的】・ループバック機能を備えた半二重通信方式の 通信制御装置において、受信手段の最小受信レベルの異 常検出を常時行うことを可能にする。この時本をはは、

**【構成】: **内部の送信及び受信信号の処理をする上位処 理装置と、送信手段と、通信媒体上の信号を変換して出 力する受信手段と、通信媒体上の信号を信号として判別 してきる最小限の信号レベルに変換して受信手段へ出力す 写る信号減衰手段と、前記内部の送信信号が無い場合は、 |通信媒体上の信号を前記受信手段へ直接入力し、内部の | 送信信号が有る場合は、通信媒体上の信号を前記信号減 衰手段を経て前記受信手段へ入力する切り換え手段と、 内部の送信信号があるときに、内部の送信信号と、内部 の受信信号を比較し、それらの信号が一致していれば正 常であり、一致していなければ異常であると判別する比 較手段とから構成したことを特徴とする通信制御装置。

in the light to the light of the

3 8 1 7 W 3 [6002]



V(22)(22)

【特許請求の範囲】

【請求項1】送信及び受信が同一の通信媒体で行われる 半二重通信方式において、

内部の送信信号を変換して通信媒体上へ出力する送信手段と、

通信媒体上の信号を変換して、内部の受信信号として出 力する受信手段と、

通信媒体上の信号を、信号として判別できる最小限の信号レベルに変換して受信手段へ出力する信号減衰手段 と、

前記内部の送信信号の有無を検出し、内部の送信信号が 無い場合は、通信媒体上の信号を前記受信手段へ直接入 力し、内部の送信信号が有る場合は、通信媒体上の信号 を前記信号減衰手段を経て前記受信手段へ入力する切り 換え手段と、

入力の一方が内部の送信信号であり、他方の入力が内部の受信信号であり、内部の送信信号があるときに、内部の送信信号と、内部の送信信号を比較し、それらの信号が一致していれば正常であり、それらの信号が一致していなければ異常であると判別する比較手段とから構成さ 20れた通信制御装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、ループバック機能を備えた通信制御装置のループバック機能を用いて、予め設定した最小受信レベルにより常に受信手段をチェックし、異常を検出できるようにした通信制御装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】長距離通信を行う通信媒体上では、信号 30 レベルの減衰が問題となる。ループバック機能を備えた通信制御装置は、通信媒体に接続された通信装置が自局宛の試験用の信号を送出し、それを正常に受信できるか否かによって、送受信機能の診断を行うように構成されている。しかしながら、従来の通信制御装置はルーブバックにより、受信手段自体の異常検出を行うことを目的としたものであるために、受信手段の最小受信レベルの異常を検出することが出来ない、という問題があった。又、前記の異常を検出する際には、通信制御装置のループバック機能を起動し制御するためのソフトウエアを上 40 位処理装置に構築しなければならいという欠点もあった。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、上記のような点を解決するために、ループバック機能を用いて、最小受信レベルの異常検出を常時行うことができる装置を実現することにある。

[0004]

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため に、本発明は、送信及び受信が同一の通信媒体で行われ 50

る半二重通信方式において、内部の送信信号を変換して 通信媒体上へ出力する送信手段と、通信媒体上の信号を 変換して内部の受信信号として出力する受信手段と、通 信媒体上の信号を、信号として判別できる最小限の信号 レベルに変換して受信手段へ出力する信号減衰手段と、

【0005】前記内部の送信信号の有無を検出し、内部の送信信号が無い場合は、通信媒体上の信号を前記受信手段へ直接入力し、内部の送信信号が有る場合は、通信媒体上の信号を前記信号減衰手段を経て前記受信手段へ入力する切り換え手段と、入力の一方が内部の送信信号であり、他方の入力が内部の受信信号であり、内部の送信信号があるときに、内部の送信信号と、内部の受信信号を比較し、それらの信号が一致していれば正常であり、それらの信号が一致していなければ異常であると判別する比較手段とから構成したことを特徴とする。

[0006]

【作用】本発明では、上位処理装置の出力である内部の 送信信号を、送信手段を通して通信媒体上へ出力する。 当該出力信号を減衰手段を通して受信手段が受信できる 最小受信レベルまで減衰させて受信手段へ入力する。切 り換え手段を用いて、上位処理装置の出力である内部の 送信信号が有る間だけ、受信手段の出力である内部の受 信信号と、前記上位処理装置の出力である内部の受 信号と、前記上位処理装置の出力である内部の送信信 号とのレベル差を比較手段が検出する。レベル差が所定 の値を超えると、異常の状態通知信号を出力する。この チェックは送信動作の都度繰り返される。

[0007]

【実施例】以下図面を用いて本発明を説明する。図1は本発明の一実施例を示した構成プロック図である。1は通信に使用される媒体であり、通常銅線ケーブル又は光ケーブル等が使用される。この媒体を使用して半二重通信方式により通信を行う。2は送信すべき内部の送信信号S」を、所定の通信フレームに変換して通信媒体1上へ出力する送信手段である。

【0008】3は通信媒体1上の信号又はその減衰された信号を入力とし、内部の受信信号S」として出力する受信手段である。4は通信媒体1上の信号を、受信手段3が信号として判別できる最小限の信号レベルに変換して受信手段3へ出力する信号減衰手段である。5は前記内部の送信信号S」の有無を検出し、内部の送信信号S」が無い場合は、通信媒体1上の信号を前記受信手段3へ直接入力し、内部の送信信号S」が有る場合は、通信媒体1上の信号を前記信号減衰手段4を経て前記受信手段3へ入力する切り換え手段である。

【0009】 6 は入力の一方が内部の送信信号 S_1 であり、他方の入力が内部の受信信号 S_1 であり、内部の送信信号 S_1 があるときに、内部の送信信号 S_1 と、内部の受信信号 S_1 を比較し、それらの信号が一致していれば正常であり、それらの信号が一致していなければ異常であると判別して状態通知信号 S_1 を出力する比較手段で

ある。7は内部の送信信号S₁を出力し、内部の受信信号S₁を読み取り処理し、比較手段6が発する異常の状態通知信号S₁を受けた時は送受信の異常処理をする上位処理装置である。

【0010】図2は装置と各手段間の信号の遷移動作を説明する図である。本図を用いて各部の動作を説明する。縦軸は上位処理装置と主な手段の信号の状態遷移を示す。横軸は時間であり、主な状態遷移に対応した時間間隔をT₁~T₁で示す。この時間間隔は通信の内容により一定しない。

【0011】時間T」の間は通信が無い状態である。上位処理装置7は、送受信を停止し、通信媒体1上には信号が無く、切り換え手段5は通信媒体1を受信手段3へ接続した状態であり、比較手段6は停止し、状態通知信号は正常な状態であることを示す。時間T」の間は自局が送信している状態である。上位処理装置7は、送信状態となり内部送信信号S」を出力する。切り換え手段5はこの内部送信信号S」を検出し、通信媒体1を減衰手段4へ接続する。同時に比較手段6も内部送信信号S」を検出して起動し、内部送信信号S」と内部の受信信号 20 S」を比較して差異が無ければ状態通知信号S」は正常と出力する。通信媒体1上へは送信手段2から送信信号が出力され、有信号状態となる。

【0012】時間T、は時間T、と同様である。時間T、は他局が送信している状態であり、通信媒体1は有信号状態であるが、内部の送信信号S、が無いために、切り換え手段5は通信媒体1上の信号を受信手段3へ直接入力するように切り換えられている。尚、比較手段6は起動せずT、の状態を維持し、上位処理装置7は受信状態となる。時間T、は時間T、と同様通信の無い状態である。時間T、は時間T、と同様自局が送信している状態である。受信レベルに異常が無い限り上述のT、~T、の状態が繰り返される。

【0013】時間T,のa時点において、受信手段3の最小受信レベルが規定範囲外になった場合、即ち受信感度が低下したか或いは上昇した場合は、自局が次に送信

する時間T.において、上位処理装置7が送信状態となり、それを検知して、切り換え手段5は通信媒体1を減衰手段4へ接続し、比較手段6も起動する。ここで、受信手段3の受信レベルが変化したため、減衰手段4から出力される信号レベルに対して、受信手段3は正しい内部受信信号S.を出力出来なくなる。そこで比較手段6は内部送信信号S.と内部受信信号S.を比較して一定の差異が有れば検出し、状態通知信号S.は異常信号を出力して、上位処理装置7に通知する。このようにして、受信機能の最小受信レベルの異常検出を常に行うことが可能な通信制御装置が実現できる。

[0014]

【発明の効果】本発明によれば、自局が送信している間に、通信媒体上の送信信号を減衰させて最小受信レベルの信号を得て、受信手段へ入力するように構成したので、減衰手段と、切り換え手段と、比較手段を付加するのみで、上位処理装置、送信手段を含めて受信手段の異常検出を自局が送信する都度実施することができる。又ソフトウエアを上位処理装置に構築しなければならいという欠点も克服された。

【図面の簡単な説明】

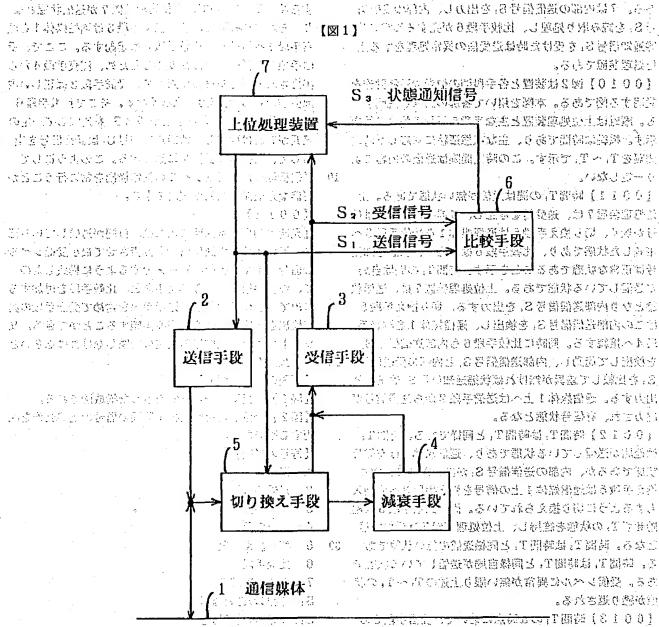
【図1】本発明の一実施例を示した構成図である。

【図2】上位処理装置と各手段間の信号の遷移動作を説明する図である。

【符号の説明】

- 1 通信媒体
- 2 送信手段
- 3 受信手段
- 4 減衰手段
- 5 切り換え手段
- 6 比較手段
- 7 上位処理装置
- Si内部の送信信号
- S。 内部の受信信号
- S, 状態通知信号

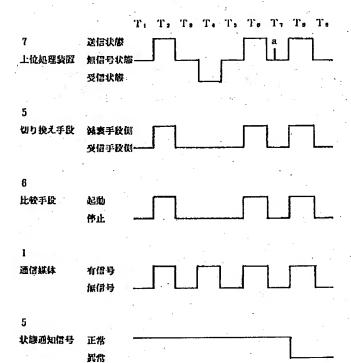
34 11115-042



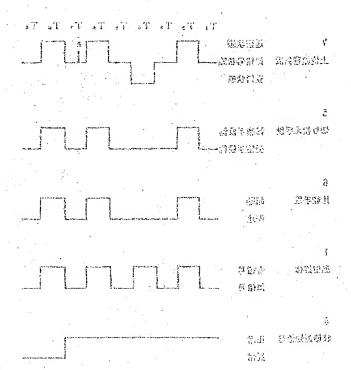
right with the

[図2]

(5)



(8國)。



0

12: 44